

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和6年12月5日 第33号

エールの交換

集会でも少しお話をしましたが、先日母校が全国大会の準決勝に進出して、しかも相手が関東の超名門大学と聞き、勢い勇んで長居競技場へ駆けつけたのでした。

競技自体も楽しみなのですが、相手の超名門大学の校歌斉唱がすごいです。どこのカラオケにも入っているほど有名な校歌。関西に応援団は少なくても校歌を歌うときには、小集団でも競技場一体にとどろく歌声。これを聞くのが最初の楽しみ。

大学のスポーツには、応援団がやってきます。重くて大きな校旗を応援団の一人が試合中ずっと持ち続けます。強い風が吹こうが虫が飛んで来ようが、学校のシンボルを掲げ続けるのです。

さらに応援団の横には、チアガールが並び、試合の展開に合わせて、いろんなダンスを披露し、観客を楽しませてくれます。その姿は、「応援」という形の中の無心な思いが込められていました。

敗北が決定的な場面でも、最後まであきらめず選手や観客を鼓舞する姿勢に大感激した10年ほど前の思い出が蘇ってきました。

学生スポーツの最大の醍醐味は、「エールの交換」。試合前にそれぞれの応援団長が大観衆の静寂をぶち破って「フレーフレー」の大声を飛ばした後、自校の名前を叫び、続けて「フレーフレー」のあと相手校の名前を叫ぶ。

それは、試合が終わり勝ち負けが決まった後でも行われます。

この勝っても負けても相手を称えるエールの交換に鳥肌が立たない人はいないと思います。

ふっふっ。で、来週の日曜日、甲子園に行ってきます。